

夏期講習会中に、成績、とりわけ偏差値を、大幅に上昇させるには  
—すべての教科の学力の基礎となる「読解力」も「辞書」と  
「読書」と「新聞」の活用で身に着けよう

開倫塾  
塾長 林 明夫

Q：この夏期講習会中に成績、具体的にいうと偏差値を大幅に上昇させて志望校合格を果たしたいと  
思います。どうしたらよいでしょうか。

A：(1)最も大切なことは、自分の力で志望校名を明確にすることです。また、自分の力で志望  
校に入学して何を学ぶのかを明確にすることです。自分の力で志望校名と入学後にしたい  
ことを明確にすることなく、短期間での偏差値急上昇はありません。

(2)第2に大切なことは、開倫塾の夏期講習会のすべてのプログラムに100%参加すること  
です。1979年創業の開倫塾には、短期間で偏差値を急上昇させるプログラムや学習方法  
が数多く用意されています。先生方は、自分なりに教え方日本一を目指す熱心な先生ばかり  
です。すべてのプログラムに100%参加し、先生方の指導通りに夏休み中学習すれば、  
偏差値は必ず上昇します。しかし、プログラムを用意しているのに参加がなければ、開倫  
塾としてはお役に立てることが少ないと考えます。ですから、夏期講習会中のすべてのプ  
ログラムに必ず御参加ください。「お盆特訓」は中3全塾生の必修です。

(3)お盆特訓を含む開倫塾の夏期講習会に参加する間は、開倫塾のテキストや教材、テスト  
を、繰り返し学び直し、徹底「理解」、また、スミからスミまで身に着ける「定着」を心  
掛けてください。

(4)お盆特訓を含む夏期講習会のテキストや教材、テストはすべて考え抜いて作られていま  
す。授業を受けるだけでなく、授業前や授業後にも、繰り返し勉強し直してください。勉  
強の仕方も大切です。開倫塾の「学習の3段階理論」を参考に自分なりに工夫してくださ  
いね。

Q：「学習の3段階理論」とは何ですか。

A：(1)開倫塾を創業して以来、37年間かけてまとめ上げた、一生使える「効果の上がる学習方法」  
です。

(2)「学習」を、「理解」「定着」「応用」の「3段階」に分け、それぞれの「段階」ごとに効果  
の上がる学習方法をお示ししたものです。

(3)第1段階の「理解」とは、「うんなるほどと、よくわかること」です。

①「授業」中は、「手を机の上に置き、先生目と口元を見て一語一句聞き漏らさないように  
真剣に聴く」こと。

②テキストや教材を読んでいて、また、テスト終了後、わからないことばがあったら、「気持  
ちが悪い」と思い、「辞書」や各教科の「用語集」、学年別の「参考書」を用いて必ず調べ  
ること。調べたことは、「ノートに書き写し、その場で覚える」こと。

\*「ことばの数」が増えると、すべての教科の学力の基礎となる「読解力」が身に着きます。

③計算や問題は、解き方も含めすべてノートに解く。

④授業前は、「何がわからないかをはっきりさせてから授業に臨む」ために「予習」を行う。

⑤授業が終わったら、「ノートを整理」しながら、必ずもう一度教科書や問題集を勉強し直す、解き直す。



(4)第2段階の「定着」とは、「一度学んだテキストや教材、テストを用いて、次の『定着のための3大練習』を行い、『理解』したことをスミからスミまで身に着けること」です。

①「音読練習」…「スラスラとよく読めるようになるまで声を出して読めるまでにすること」。  
\*できれば、「何も見ないで言えるまでにすること」。これを「暗唱(あんしょう)」といいます。

②「書き取り練習」…「楷書(教科書の書体)で、書き順も含め正確に書けるまでにすること」。  
\*できれば、「暗唱した内容を何も見ないで書けるまでにすること」。これを「暗記」といいます。

③「計算・問題練習」…「計算や問題を何回も練習して、計算や問題を見た瞬間に、パッパッパッと、条件反射で正解が出るまでにすること」。  
\*「定着のための3大練習」は「不可能を可能にする」と考えます。勉強もスポーツと同じで、「練習、練習、また練習」が大切です。

(5)第3段階の「応用」とは、「テストでよい点数が取れることと、社会で役立てることができること」です。

①「テストでよい点数を取るため」には、  
・「過去に出た問題(過去問)の5～6年分を、5～6回やり直す」こと。  
・特に、「間違えた問題は繰り返しやり直す」こと。

\*「間違いノート」や「まとめノート」を作り、「ノートを学び直すこと」がポイントです。

②「学校と開倫塾のテキストや教材、ノートは学校を卒業後も処分しないで保管し、折に触れて読み直す」ことが、「社会で役立てる」ために役立ちます。



**Q：**この他にやったほうがよいことは何ですか。

**A：**(1)1つ目は、「各教科の教科書で紹介されているような本を、少しずつでも、毎日じっくりと読む」ことです。読んでいて大切だと思われることばや文章は、『書き抜き読書ノート』に書き抜き、繰り返し読んで自分のものにする」こと。「読書」により、「思慮深さ」と「自分を振り返る力」が身に着きます。すべての教科の学力の基礎となる「読解力」も身に着きます。

(2)2つ目は、「新聞を毎日読んで世の中の動きを知る」ことです。「気になる記事は切り抜いて『スクラップブック』にのりで貼り付け、繰り返し読む」こと。「新聞を読むこと」により、「自分で考える力」と「批判的思考能力」が身に着きます。すべての教科の学力の基礎となる「読解力」も身に着きます。

(3)3つ目は、以上のことをすべて行うのには時間がかかりますので、自分で時間を管理して、「長時間自己学習をすること」です。開倫塾では、空いている机や椅子を用いての「長時間自己学習」を奨励しています。開倫塾の先生と保護者の許可が得られた方は、夏休み中、毎日通塾して、開倫塾で勉強してくださいね。ただし、夜は10時30分以降は全員帰宅してください。  
\*夜10時30分以降の居残り勉強は絶対禁止です。必ずお守りください。

以上

(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)